



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月7日

上場会社名 加賀電子株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 8154 URL https://www.taxan.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 門 良一  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 川村 英治 TEL 03-5657-0111  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 2019年12月6日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	230,630	99.9	5,239	38.9	5,546	37.0	3,502	27.4
2019年3月期第2四半期	115,383	△1.0	3,772	△14.2	4,049	△13.9	2,750	△21.8

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 2,436百万円 (△29.7%) 2019年3月期第2四半期 3,467百万円 (△15.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	127.62	—
2019年3月期第2四半期	100.25	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	214,475	85,466	36.2
2019年3月期	213,761	84,259	35.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 77,617百万円 2019年3月期 76,604百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	35.00	—	45.00	80.00
2020年3月期	—	30.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2019年3月期 中間配当金の内訳 普通配当30円00銭 創立50周年記念配当 5円00銭

2019年3月期 期末配当金の内訳 普通配当40円00銭 特別配当 5円00銭

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	430,000	46.9	7,000	△7.5	7,000	△10.9	5,000	△37.6	182.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	28,702,118株	2019年3月期	28,702,118株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	1,254,995株	2019年3月期	1,254,924株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	27,447,183株	2019年3月期2Q	27,432,859株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について)

当社は、2019年11月28日（木）に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会の動画については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

なお、当日使用する四半期決算補足説明資料は、決算発表後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、昨年11月に策定した「中期経営計画 2021」で掲げる2022年3月期〔売上高5,000億円、営業利益130億円、ROE8.0%以上〕の経営目標達成に向けて、電子部品販売ビジネスおよびEMS<sup>(注)</sup>ビジネスを両輪に、成長戦略を推進しております。

当第2四半期連結累計期間における売上高は、本年1月より当社のグループ会社となった富士通エレクトロニクス株式会社(以下、「富士通エレクトロニクス」)の収益が期初から寄与したことなどにより前年同四半期比大幅に増加し、2,306億30百万円(前年同四半期比99.9%増)となりました。

利益面では、買収効果に加えEMSビジネスを中心とした電子部品事業が堅調に推移したことなどにより、営業利益は52億39百万円(前年同四半期比38.9%増)、経常利益は55億46百万円(前年同四半期比37.0%増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は35億2百万円(前年同四半期比27.4%増)となりました。

なお、営業利益および経常利益においては、第2四半期連結累計期間での最高益更新となりました。

(注) Electronics Manufacturing Serviceの略語。製品の開発・生産を受託するサービス。

	前第2四半期 連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	増減	
			百万円	増減率
売上高	115,383	230,630	115,247	99.9%
売上総利益 (利益率)	16,023 13.9%	23,771 10.3%	7,747 △3.6pt	48.4% -
販売費及び一般管理費	12,251	18,531	6,279	51.3%
営業利益	3,772	5,239	1,467	38.9%
経常利益	4,049	5,546	1,497	37.0%
税金等調整前四半期純利益	4,142	5,302	1,160	28.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,750	3,502	752	27.4%
為替レート(期中平均) USドル	110円26銭	108円63銭	△1円63銭	-

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

## ①電子部品事業(半導体、一般電子部品、EMSなどの開発・製造・販売など)

当事業では、EMSビジネスは医療機器、車載関連向けを中心に順調に推移しました。また、部品販売ビジネスはLED照明などの民生向けに加え、富士通エレクトロニクスのグループ会社化により携帯電話、車載向けなどの新たな収益が加わりました。

これらの結果、売上高は1,998億18百万円(前年同四半期比139.4%増)、セグメント利益は42億38百万円(前年同四半期比71.3%増)となりました。

## ②情報機器事業(パソコン、PC周辺機器、各種家電、写真・映像関連商品およびオリジナルブランド商品などの販売など)

当事業では、個人や学校・教育機関向けにパソコンおよびPC周辺機器販売が好調に推移しました。一方、商業施設向けLED設置ビジネスは大口顧客の置き換え需要が一服し、住宅向け家電販売ビジネスは販売先の納期調整の影響などにより減少しました。

これらの結果、売上高は199億68百万円(前年同四半期比5.6%減)となり、セグメント利益は6億18百万円(前年同四半期比28.5%減)となりました。

## ③ソフトウェア事業(CG映像制作、アミューズメント関連商品の企画・開発など)

当事業では、CG映像制作やゲームソフト開発などの受注が顧客の開発日程延伸などにより厳しい状況が続きました。

これらの結果、売上高は13億32百万円(前年同四半期比5.1%減)、セグメント利益は46百万円(前年同四半期比67.2%減)となりました。

④その他事業（エレクトロニクス機器の修理・サポート、アミューズメント機器の製造・販売、スポーツ用品の販売など）

当事業では、アミューズメント業界向けゲーム機器の販売が好調に推移しました。また、PC周辺機器および携帯電話のリサイクルビジネスは堅調に推移しましたが、ゴルフ用品販売は伸び悩みました。

これらの結果、売上高は95億10百万円（前年同四半期比1.4%増）となり、セグメント利益は2億59百万円（前年同四半期比19.6%増）となりました。

		前第2四半期 連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	増減	
		百万円	百万円	百万円	
電子部品事業	売上高	83,455	199,818	116,363	139.4%
	セグメント利益	2,474	4,238	1,764	71.3%
情報機器事業	売上高	21,143	19,968	△1,174	△5.6%
	セグメント利益	864	618	△246	△28.5%
ソフトウェア事業	売上高	1,404	1,332	△72	△5.1%
	セグメント利益	143	46	△96	△67.2%
その他事業	売上高	9,379	9,510	131	1.4%
	セグメント利益	216	259	42	19.6%
合計	売上高	115,383	230,630	115,247	99.9%
	セグメント利益	3,772	5,239	1,467	38.9%

(注) 「セグメント利益」については、各セグメントでは調整前の数値を記載し、合計は調整後の数値で記載しております。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は2,144億75百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億13百万円の増加となりました。

流動資産は1,821億33百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億62百万円の減少となりました。これは主に、現金及び預金が79億27百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が25億44百万円減少、商品および製品が55億3百万円減少したことによるものであります。

固定資産は323億41百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億76百万円の増加となりました。これは主に、IFRS第16号の適用および福島新工場やタイ第2工場の新設などにより有形固定資産が20億8百万円増加し、投資有価証券が6億33百万円減少したことによるものであります。

負債は1,290億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億93百万円の減少となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が31億88百万円減少し、短期借入金が10億54百万円増加、リース債務が11億74百万円増加したことによるものであります。

純資産は854億66百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億6百万円の増加となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益35億2百万円の計上と配当金の支払12億35百万円によるものであります。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物の期末残高は、411億89百万円と前連結会計年度末に比べ89億57百万円の増加となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した現金及び現金同等物は、122億42百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上および棚卸資産の減少によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した現金及び現金同等物は、18億99百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した現金及び現金同等物は、7億46百万円となりました。これは主に、配当金の支払によるものであります。

(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期以降の当社グループを取り巻く経営環境は、米国発の貿易諸問題の影響ならびに中国国内の景気動向、英国の欧州連合離脱問題、イラン等中東地域の地政学リスク等、予断を許さない状況が続くものと思われま

す。通期の業績見通しは、このような先行き不透明な経営環境を慎重に見極めつつ、当第2四半期連結累計期間の順調な進捗を踏まえても、前回発表の業績予想を据置くこととしました。業績見通しの前提となる為替レートについても変更ありません。

当社は「中期経営計画2021」の初年度として、電子部品販売ビジネスおよびEMSビジネスを中心に、引き続き目標達成に向け全社一丸となって取り組んでまいります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	35,003	42,931
受取手形及び売掛金	96,145	93,600
電子記録債権	5,361	3,909
有価証券	261	229
商品及び製品	33,734	28,230
仕掛品	489	664
原材料及び貯蔵品	5,802	5,898
その他	5,894	6,986
貸倒引当金	△296	△317
流動資産合計	182,396	182,133
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,910	5,800
機械装置及び運搬具(純額)	3,506	4,027
工具、器具及び備品(純額)	1,104	987
土地	4,861	4,764
建設仮勘定	628	1,438
有形固定資産合計	15,011	17,020
無形固定資産		
のれん	259	217
ソフトウェア	1,819	1,580
その他	126	159
無形固定資産合計	2,206	1,957
投資その他の資産		
投資有価証券	10,085	9,452
繰延税金資産	1,292	1,143
差入保証金	870	860
保険積立金	951	897
その他	1,462	1,518
貸倒引当金	△515	△507
投資その他の資産合計	14,147	13,364
固定資産合計	31,364	32,341
資産合計	213,761	214,475

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	77,884	74,696
短期借入金	30,656	31,710
未払費用	5,307	5,015
未払法人税等	1,147	1,162
役員賞与引当金	105	35
その他	6,239	8,005
流動負債合計	121,340	120,626
固定負債		
長期借入金	1,882	1,372
繰延税金負債	1,300	1,455
役員退職慰労引当金	94	101
退職給付に係る負債	1,997	1,919
資産除去債務	280	286
その他	2,606	3,247
固定負債合計	8,161	8,382
負債合計	129,501	129,008
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	12,133	12,133
資本剰余金	13,865	13,865
利益剰余金	51,297	53,564
自己株式	△2,024	△2,024
株主資本合計	75,272	77,539
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,018	593
繰延ヘッジ損益	2	21
為替換算調整勘定	527	△345
退職給付に係る調整累計額	△215	△191
その他の包括利益累計額合計	1,332	77
非支配株主持分	7,654	7,848
純資産合計	84,259	85,466
負債純資産合計	213,761	214,475



## (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	115,383	230,630
売上原価	99,360	206,859
売上総利益	16,023	23,771
販売費及び一般管理費	12,251	18,531
営業利益	3,772	5,239
営業外収益		
受取利息	57	117
受取配当金	111	126
受取手数料	102	147
為替差益	—	137
その他	177	212
営業外収益合計	448	740
営業外費用		
支払利息	83	156
持分法による投資損失	34	216
為替差損	36	—
その他	17	61
営業外費用合計	171	434
経常利益	4,049	5,546
特別利益		
固定資産売却益	3	17
投資有価証券売却益	214	29
事業譲渡益	7	12
受取和解金	—	498
その他	—	1
特別利益合計	225	559
特別損失		
固定資産除却損	3	3
投資有価証券売却損	2	13
投資有価証券評価損	110	536
ゴルフ会員権評価損	5	—
減損損失	9	245
その他	1	4
特別損失合計	132	803
税金等調整前四半期純利益	4,142	5,302
法人税、住民税及び事業税	1,069	1,135
法人税等調整額	314	317
法人税等合計	1,384	1,453
四半期純利益	2,758	3,848
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,750	3,502
非支配株主に帰属する四半期純利益	7	346
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△45	△423
繰延ヘッジ損益	26	19
為替換算調整勘定	744	△986
退職給付に係る調整額	13	21
持分法適用会社に対する持分相当額	△29	△42
その他の包括利益合計	709	△1,411
四半期包括利益	3,467	2,436
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,457	2,243
非支配株主に係る四半期包括利益	9	193

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,142	5,302
減価償却費	750	1,284
減損損失	9	245
のれん償却額	44	42
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△1,191	6
貸倒引当金の増減額(△は減少)	25	29
受取利息及び受取配当金	△168	△243
支払利息	83	156
持分法による投資損益(△は益)	34	216
投資有価証券売却損益(△は益)	△211	△15
投資有価証券評価損益(△は益)	110	536
売上債権の増減額(△は増加)	1,904	2,979
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,248	4,784
未収入金の増減額(△は増加)	338	△497
前渡金の増減額(△は増加)	△15	△1,460
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,459	△2,095
未払費用の増減額(△は減少)	△241	△269
未収消費税等の増減額(△は増加)	△46	802
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△52	66
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△425	1,201
その他	1,263	△159
小計	2,643	12,913
利息及び配当金の受取額	170	253
利息の支払額	△78	△164
法人税等の支払額	△838	△633
その他	1	△126
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,898	12,242
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△3,092	△517
定期預金の払戻による収入	340	1,507
有形固定資産の取得による支出	△775	△1,695
有形固定資産の売却による収入	84	181
無形固定資産の取得による支出	△78	△244
投資有価証券の取得による支出	△1,941	△922
投資有価証券の売却による収入	546	299
短期貸付けによる支出	—	△550
保険積立金の解約による収入	11	52
差入保証金の差入による支出	△15	△26
差入保証金の回収による収入	14	30
その他の支出	△41	△53
その他の収入	8	39
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,938	△1,899
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,116	1,165
長期借入れによる収入	—	161
長期借入金の返済による支出	△623	△639
配当金の支払額	△1,095	△1,233
その他	△82	△201
財務活動によるキャッシュ・フロー	△685	△746
現金及び現金同等物に係る換算差額	354	△638
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,370	8,957
現金及び現金同等物の期首残高	28,879	32,231
現金及び現金同等物の四半期末残高	25,509	41,189

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」)

国際財務報告基準を適用している子会社は、第1四半期連結会計期間の期首より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下、「IFRS第16号」)を適用しております。これにより、借手のリース取引については、原則すべてのリースについて使用権資産およびリース債務を認識するとともに、使用権資産の減価償却とリース債務に係る支払利息を計上しております。

IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従って、リース債務は、適用開始日現在の借手の追加借入利率を用いて割り引いた現在価値で測定しており、使用権資産はリース債務と同額を計上する方法を採用しております。

本基準の適用に伴い、当第2四半期連結会計期間末において、有形固定資産の「建物及び構築物(純額)」が1,117百万円、「機械装置及び運搬具(純額)」が3百万円、「工具、器具及び備品(純額)」が0百万円、流動負債の「その他」が265百万円、固定負債の「その他」が869百万円それぞれ増加しております。

なお、この変更に伴う当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報)

## I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)2
	電子部品 事業	情報機器 事業	ソフトウェア 事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	83,455	21,143	1,404	9,379	115,383	—	115,383
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,348	460	361	2,060	4,231	△4,231	—
計	84,803	21,604	1,766	11,440	119,615	△4,231	115,383
セグメント利益	2,474	864	143	216	3,698	73	3,772

(注)1. セグメント利益の調整額73百万円には、セグメント間取引消去73百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)2
	電子部品 事業	情報機器 事業	ソフトウェア 事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	199,818	19,968	1,332	9,510	230,630	—	230,630
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,280	428	298	1,659	3,667	△3,667	—
計	201,099	20,396	1,631	11,170	234,298	△3,667	230,630
セグメント利益	4,238	618	46	259	5,163	76	5,239

(注)1. セグメント利益の調整額76百万円には、セグメント間取引消去76百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。